

報道関係各位

2026 年 1 月 28 日
トビラシシステムズ株式会社

トビラシシステムズ 特殊詐欺・フィッシング詐欺に関するレポート (2025 年 12 月)

～社長や役員になりすまし送金を求める「ビジネスメール詐欺」が急増中～

特殊詐欺やフィッシング詐欺の対策サービスを提供するトビラシシステムズ株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：明田 篤、証券コード：4441、以下「トビラシシステムズ」）は、2025 年 12 月に当社調査で確認された詐欺電話や詐欺 SMS に関する独自調査レポートを公開します。（調査期間：2025 年 12 月 1 日～ 12 月 31 日）

また、直近の当社調査で確認された傾向についてもお知らせいたします。

<調査サマリー>

- 国際電話番号に加え、携帯電話番号を使った不審電話の発生続く
- 警察・通信会社・宅配事業者を装う電話が多発、中国語で“大使館”装う自動音声電話も
- 「日本郵便」や「国税庁」をかたる SMS が発生
- 社長になりすましメールや LINE で送金指示「ビジネスメール詐欺」法人で被害急増

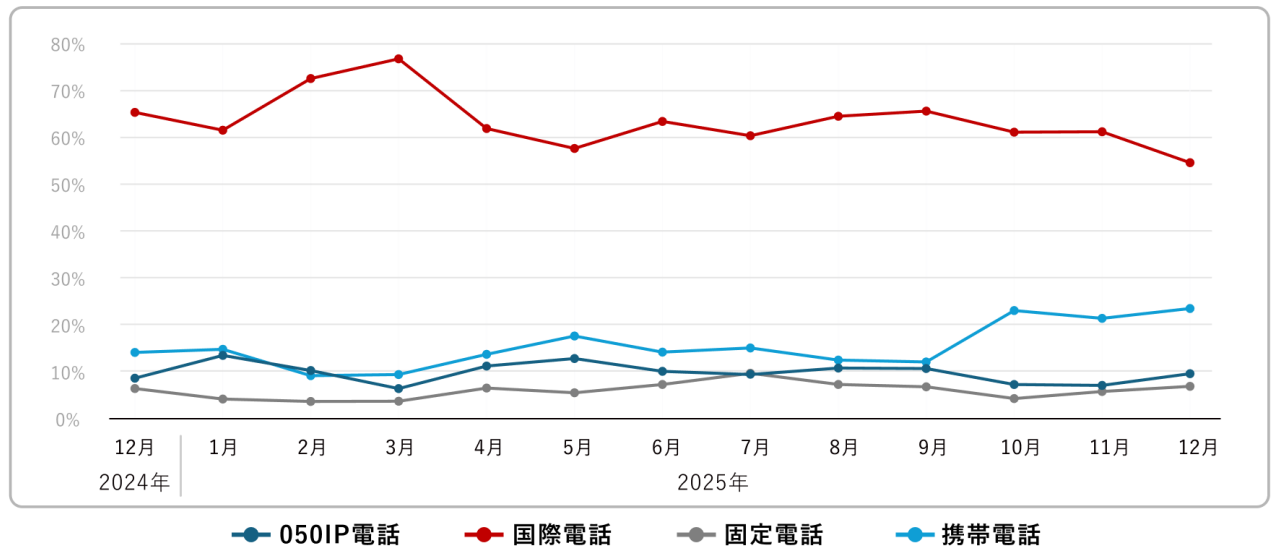
1. 詐欺電話レポート

○携帯電話番号を使った不審電話が引き続き発生

2025 年 12 月に新たにトビラシシステムズの迷惑電話番号データベースに登録された番号の種別割合は、**国際電話番号**が 54.6%（前月比－6.6%）で、前月よりわずかに減少しました。

2025 年 10 月に上昇した**携帯電話番号**の割合は、その後も横ばいの水準で推移しており、12 月は 23.5%（前月比＋2.1%）となりました。

迷惑電話番号 種別割合の推移 (トビラシステムズ調べ)



※月毎に新たに迷惑電話番号データベースに登録された番号の種別割合

○警察・通信会社・宅配事業者かたる電話が多発、中国語の自動音声電話も

当社の調査で、2025年12月に着信件数が多かった国際電話の国番号は、上位からアメリカ合衆国やカナダなどの北米地域、国際プレミアムレート（注1）、オーストラリア・クリスマス島・ココス諸島、中国、ロシア・カザフスタンでした。

国際電話 着信件数ランキング (2025年12月 トビラシステムズ調べ)

順位	国番号	国・地域名	おもな手口の例
1	+1	北米地域 (アメリカ合衆国・カナダ等)	・ニセ警察詐欺 ・官公庁、通信事業者、宅配事業者、クレジットカード会社などをかたる詐欺
2	+979	国際プレミアムレート	・ニセ警察詐欺 ・通信事業者、宅配事業者、クレジットカード会社などをかたる詐欺
3	+61	オーストラリア・ クリスマス島・ココス諸島	通信事業者をかたる詐欺
4	+86	中国	・中国大使館をかたる自動音声 ・WeChatを運営するTencentのカスタマーセンターをかたる詐欺
5	+7	ロシア・カザフスタン	通信事業者をかたる詐欺

警察官等をかたり捜査名目で金銭をだまし取る「ニセ警察詐欺」は、前月から引き続き「+1」や「+979」で始まる番号帯からの発信が多く確認されています。また、これらの番号帯を中心に、通信事業者、クレジットカード会社、宅配事業者などをかたる詐欺の電話も発生しています。

「+86」から始まる中国の番号では、中国大使館をかたり日本語と中国語の自動音声が出る電話が発生しているほか、メッセージアプリ「WeChat」のカスタマーセンターをかたる詐欺も発生しています。

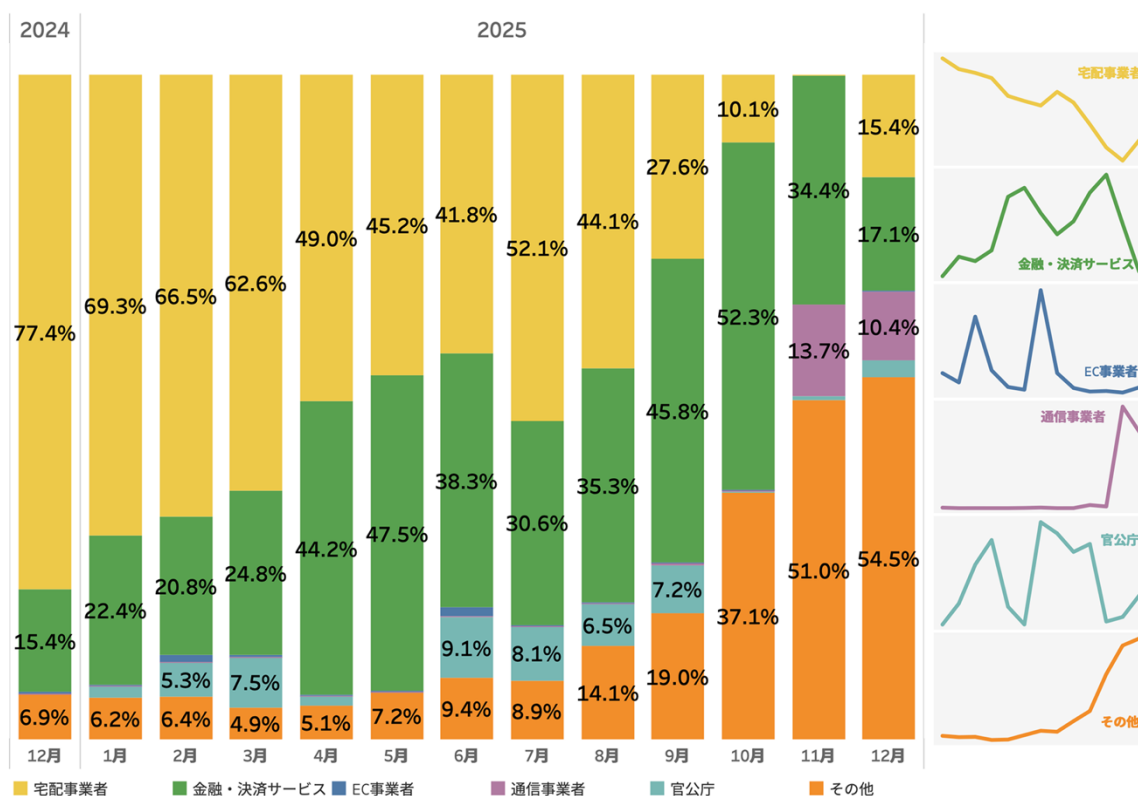
(注1) 国際電話を使って海外の有料情報サービスにアクセスする仕組みで、通常の国際電話よりも高い通話料が発生する。

2. 詐欺 SMS レポート

○宅配事業者をかたる手口が再び増加

2025 年 12 月は、前月に減少した宅配事業者をかたる手口が再び増加し、15.4%となりました。通信事業者をかたる手口の割合は、前月から横ばい傾向で発生しており、10.4%となりました。また、「Apple」や「WhatsApp」などを含むその他の手口が多発し、54.5%となりました。

フィッシング詐欺SMS 種別割合 (トビラシシステムズ調べ)

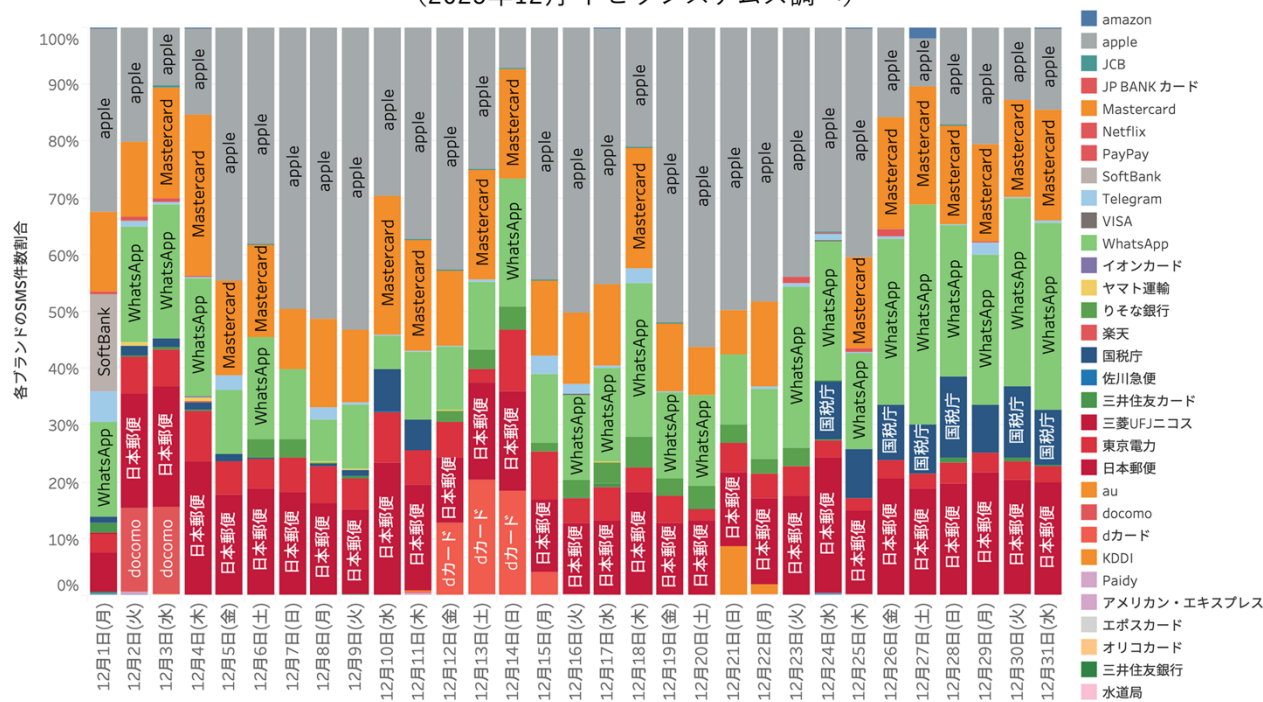


○「日本郵便」や「国税庁」をかたる SMS が発生

実在する企業やブランドをかたる SMS について、2025 年 12 月は「Apple」やメッセージアプリの「WhatsApp」をかたる SMS が前月に引き続き多発しました。宅配事業者をかたる手口では、特に「日本郵便」をかたる SMS が 1 か月を通じて発生したほか、金融機関をかたる手口では、「Mastercard」をかたる SMS が目立っています。また、12 月下旬には、「国税庁」をかたる SMS が集中的に発生しました。

フィッシング詐欺SMS ブランド割合 日別推移

(2025年12月 トビラシシステムズ調べ)



<参考資料>

フィッシングメッセージ、偽のサポート電話、その他の詐欺を含むソーシャルエンジニアリングスキームを認識し、対処する (Apple)

<https://support.apple.com/ja-jp/102568>

日本郵便を装った不審メール及び架空 Web サイトにご注意ください。(日本郵便)

<https://www.post.japanpost.jp/notification/notice/fraud-mail.html>

フィッシング詐欺にご注意ください (Mastercard)

<https://www.mastercard.co.jp/ja-jp/personal/get-support/phishing.html>

不審なメールや電話にご注意ください (国税庁)

<https://www.nta.go.jp/information/attention/attention.htm>

詐欺 SMS の検知状況をリアルタイムに観測し可視化する「詐欺 SMS モニター」で、詐欺 SMS に関する最新情報をご確認ください。

詐欺 SMS モニター

<https://smon.tobila.com/>

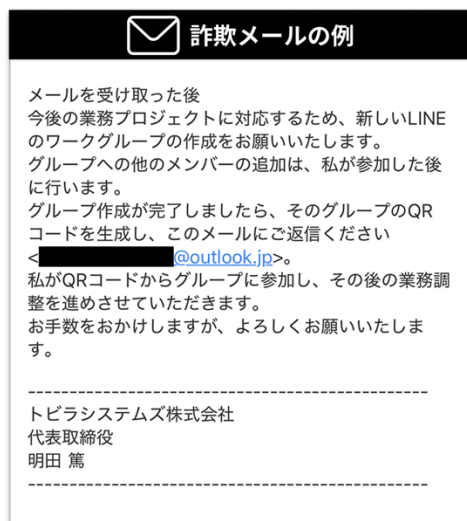
3. <トピック>社長を装いメールや LINE で指示「ビジネスメール詐欺」急増

社長や役員になりすまして企業にメールを送り、メッセージアプリに誘導したのち金銭をだまし取る「ビジネスメール詐欺」が急増し、被害が相次いでいます。

確認されている手口では、社長や役員を装った人物から「LINE グループを作成し、グループの二次元コードを送って」などと指示するメールが届きます。指示に従って LINE グループを作成し二次元コードを送ると、社長や役員を装った人物がグループに参加し、法人の銀行口座情報を聞き出そうとしたり、残高のスクリーンショットを送るよう指示したりします。最終的に「取引先へ振り込みが必要」などの名目で、指定の口座に送金を指示し、金銭をだまし取ります。

トビラシシステムズの調査では、社長などを装い LINE グループ作成を指示するとみられる不審メールが、2025 年 12 月上旬から確認され始め、2026 年 1 月下旬に至るまで発生が続いています。今後も注意が必要です。

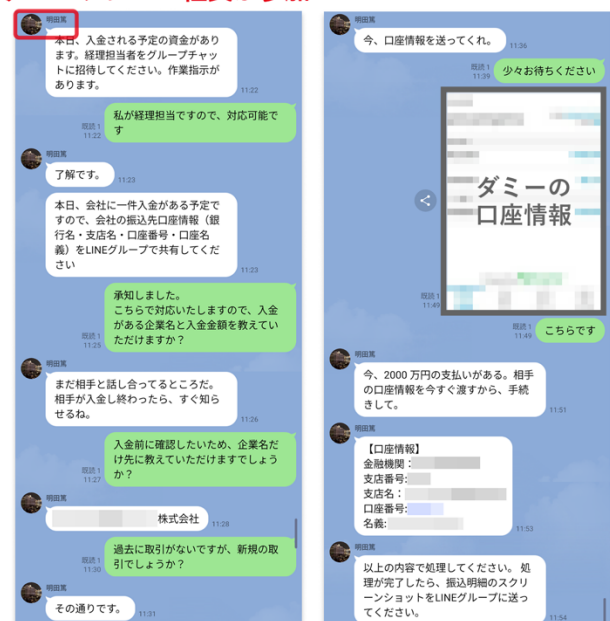
社長を装う「ビジネスメール詐欺」の手口 (トビラシシステムズ調べ)



(当社に届いた実際のなりすましメール)

LINE
グループ
を作成

グループにニセ社長が参加



(実際のLINEのやり取り)

○「ビジネスメール詐欺」の対策

1. 差出人のメールアドレスを確認

送信元のメールアドレスが正しいものか確認する。

送信元のメールアドレスが会社公式のドメインでなく、フリーメールの場合は要注意。

2.LINE でお金の話は詐欺を疑う

LINE などのメッセージアプリに移動し、銀行口座の情報や残高を教えるよう求められたり、送金を指示されたりした場合は、詐欺を疑う。

3.一人で判断せず周りに相談

不審なメールやメッセージが届いた場合は、一人で判断せず、周りの人に相談する。

社内での注意喚起や相談フローの確認などを行い、連携を強化する。

実際の手口をもとに解説した動画を、当社 YouTube で公開しています。

(動画 URL) <https://youtube.com/shorts/aYHpwbAEVw4>

4. トビラシステムズについて

テクノロジーで社会課題の解決を目指し、特殊詐欺やフィッシング詐欺、グレーゾーン犯罪撲滅のためのサービスを提供しています。詐欺電話・詐欺 SMS 等の情報を収集・調査してデータベースを構築し、自動でフィルタリングする「迷惑情報フィルタサービス」は、固定電話、モバイル、ビジネス向けに展開し月間約 1,500 万人にご利用いただいています。

<会社概要>

会社名 : トビラシステムズ株式会社

代表者 : 代表取締役社長 明田 篤

証券コード : 4441 (東証スタンダード市場)

設立 : 2006 年 12 月 1 日

所在地 : 愛知県名古屋市中区錦 2-5-12 パシフィックスクエア名古屋錦 7F

公式サイト : <https://tobila.com/>

＜本件に関する報道関係のお問い合わせ先＞

トビラシステムズ株式会社 広報担当

電話番号：050-3646-6670（直通）

お問い合わせフォーム：<https://tobila.com/contact/>